

03 川崎市—インドネシア共和国プカンバル市

提案者：日本工営（株）

プカンバル市との協力を通じたリアウ州地域における 2050年ゼロカーボンシティ形成支援事業

この事業では、川崎市とプカンバル市との都市間連携の下、プカンバル市の2050年ゼロカーボンシティ形成を起点に、リアウ州地域全体で脱炭素ドミノを実現することを目指しています。本年度は、川崎市・プカンバル市・リアウ州が協力し、リアウ州内の他自治体において脱炭素の取り組みを広げるためのワークショップを開催しました。

JCM事業化検討としては、環境や人権に配慮した企業と協力し、地域の中心産業であるパーム油産業の廃棄物を再生可能エネルギー源として活用するための案件形成に向けた調査検討を実施しています。また、リアウ州内の工業団地を中心に、太陽光発電+蓄電池+エネルギー管理システムやLED街路灯の導入に向けた基礎調査を実施しています。

